容姿を考慮したティッシュ配りの研究

Handing out tissues considering the appearance

未本健心、岐部夢奈、佐伯のの花

概要

- ・問い:街頭配布(ティッシュ配り)に適した人物像とは?
- 仮説:①街頭配布を行う人材は、 高年齢層より20代、30代の方が適していて、 配布物を受け取ってもらうのが容易である。
 - ②年齢など、他の要素に関わらず「渡し方」が 最も重要視されるのではないか。
- ・方法:様々な人物像を想定し、コンジョイント分析を利用
- ・結果: [性別:女] [年齢:20代] [渡し方:元気で]が街頭配布 ティッシュ配り)の最適な人物像において重要な要素であ る。

問題背景

問題背景

- ・ティッシュ配りの効率性を求める
- ・効率性を高めるには、

 容姿や行動が大きく関係すると考えた
- ・普段自分達が受けとる時と 受け取らない時の違いとは
- ・どの属性が重視されるか

先行研究紹介

ティッシュ配りの効率性を求める

先行研究(1)「対人距離に考慮した街頭配布の仕掛け」

松村真宏-大阪大学大学院経済学研究科

2020年の冬、新型コロナウイルス感染症拡大により、接触の自粛が呼びかけられた。 マジックハンドと鏡を用いたポケットティッシュの街頭配布を実施し、新規性と誘引性により受取人 数の最大化を試みた。結果は、手配りより3~6倍の受取人数となった。



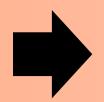
街頭配布の環境によって受け取る確率が変化するのであれば、人間によるティッシュ配りでも 効率性が高まる最善な方法があるのではないか

先行研究(2)「なぜ顔の美貌が重要なのか? 候補者の外見と選挙結果」

尾野嘉邦 (フィカルティフェロー)/浅野正彦(拓殖大学)

有権者が無意識のうちに候補者の顔を手がかりにして投票先を決めている可能性があり、容姿が優れる候補者ほどより多くの票を得る傾向がある。顔の魅力が選挙結果に大きな影響を及ぼしている。

魅力的な顔の候補者ほど、有権者は「その候補者についてより詳しく知ろうとして情報収集する」。



ティッシュ配りにおいても、 人間が配布する場合で効率性を高めるには、 容姿や行動が大きく関係するのではないかと考えた

調査方法

・インターネットによるアンケートを実施

・コンジョイント分析を用いる。ティッシュ配りをする人の「どこ」を「どう」変更すれば(変更できる範囲で)、効率を最大化できるか。

コンジョイント分析とは

- ある対象の属性や対象の水準が、当該対象を選択する際にどの程度考慮され、影響があるのかを統計的に分析する方法
- 様々な水準を組み合わせたプロファイルを複数作成し、これらを回答者に比較検討してもらう作業を通じて、どの属性が選択に影響を与えるのか推定する
- ・回答者に提示されるプロファイルの内容の属性は無作為化されている

宋ジェヒョン・善教将大.forthocoming.「無作為化コンジョイント実験の方法論的検討」より引用

調查項目

・清潔感があり、服装は男性・女性、性別を問わず、それぞれ同じものを着用する

・属性とそれぞれの要素

[性別]:男性、女性

[年齢]:20代、30代、40代、50代、60代、70代

[体型]:痩せ型、肥満体型、標準体型

[身長]:高身長、標準、低身長

[渡し方]:元気な感じで、無表情で、話しかけながら

[容姿]:メガネあり、メガネなし

[髪色]:暗めの色(黒髪、茶髪など)、明るめの色(金髪など)

調査例①

7つの属性でそれぞれ異なった要素を持った2人が ティッシュ配りをしている。 この2人がティッシュ配りをしている時、 どちらからティッシュを受け取りたいか。

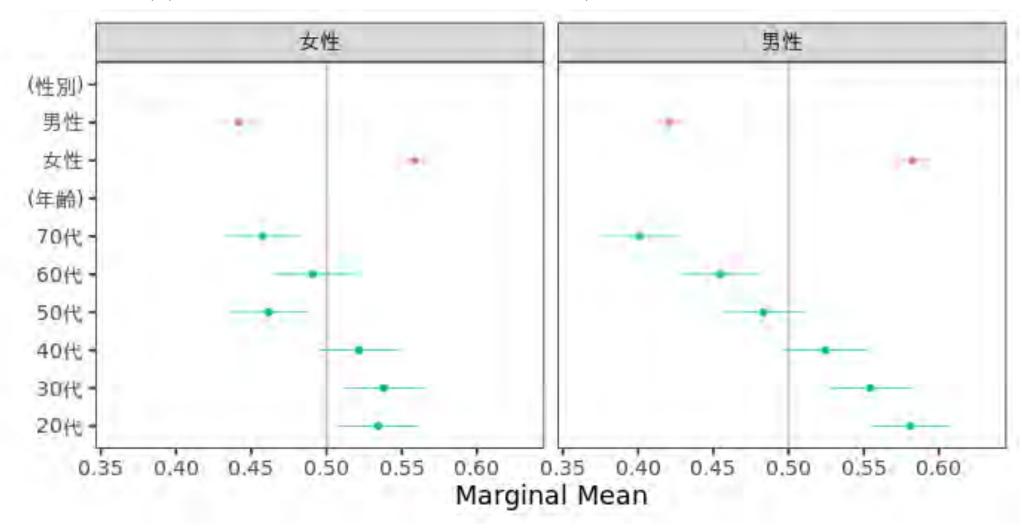
	Aさん	Bさん
年齢	30代	60代
性別	女性	女性
身長	標準	低身長
体型	標準体型	標準体型
容姿	メガネあり	メガネなし
髪色	暗めの色(黒髪、茶髪など)	明るめの色(金髪など)
渡し方	元気な感じで	無表情で

調査例②

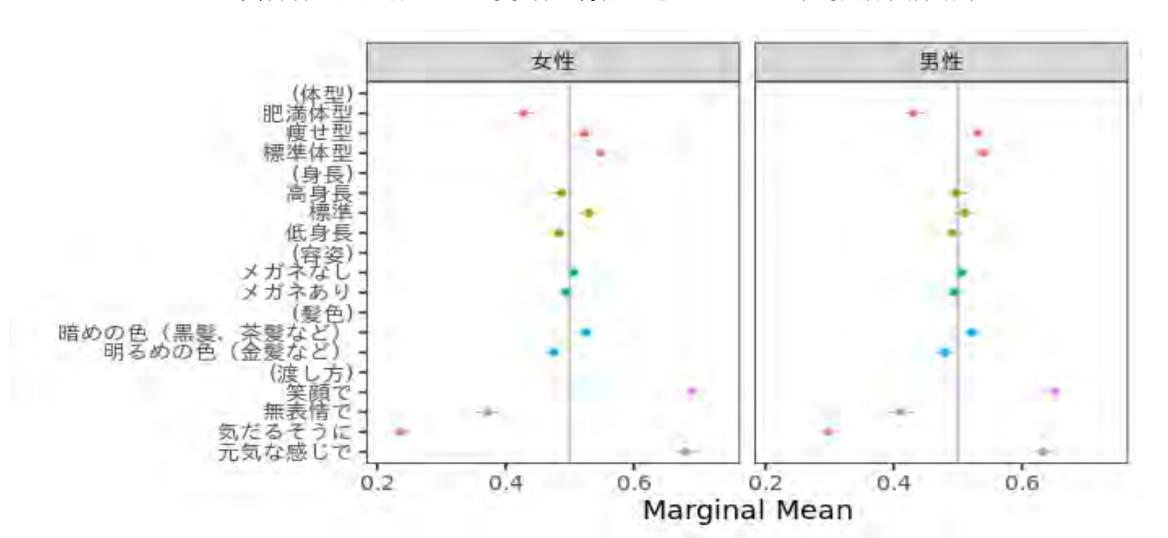
7つの属性でそれぞれ異なった要素を持った2人が ティッシュ配りをしている。 この2人がティッシュ配りをしている時、 どちらからティッシュを受け取りたいか。

	cさん	Dさん
年齢	20代	50代
性別	女性	男性
身長	低身長	高身長
体型	標準体型	標準体型
容姿	メガネなし	メガネなし
髪色	暗めの色(黒髪、茶髪など)	暗めの色(黒髪、茶髪など)
渡し方	無表情で	元気な感じで

回答者の男女別による対象者の性別と年代の違いにおける平均成分限界効果



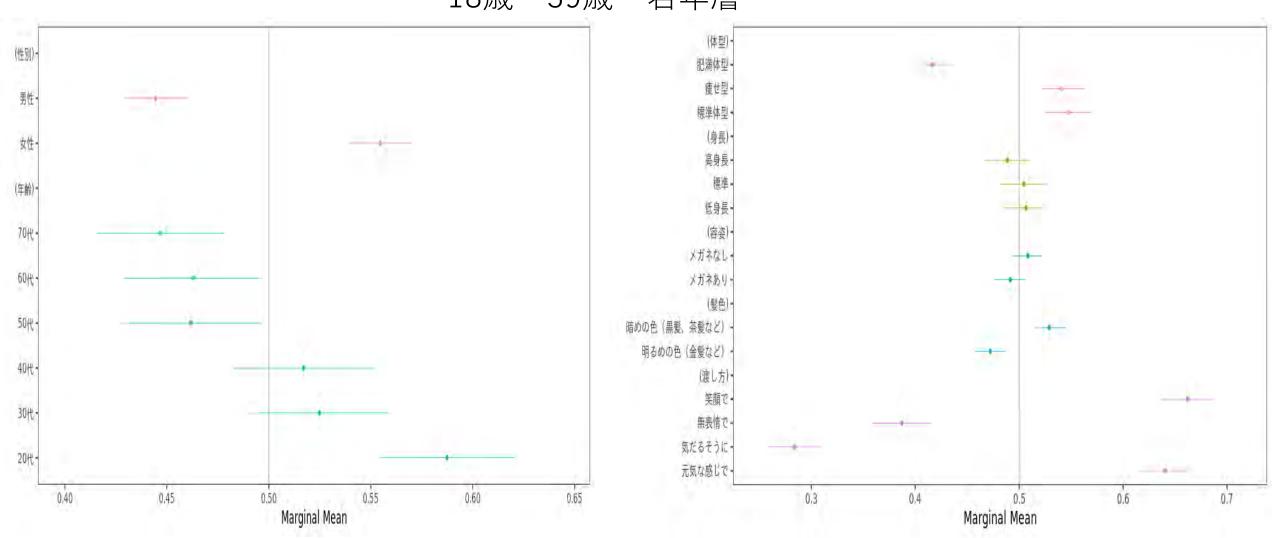
回答者の男女別による対象者の特徴の違いにおける平均成分限界効果



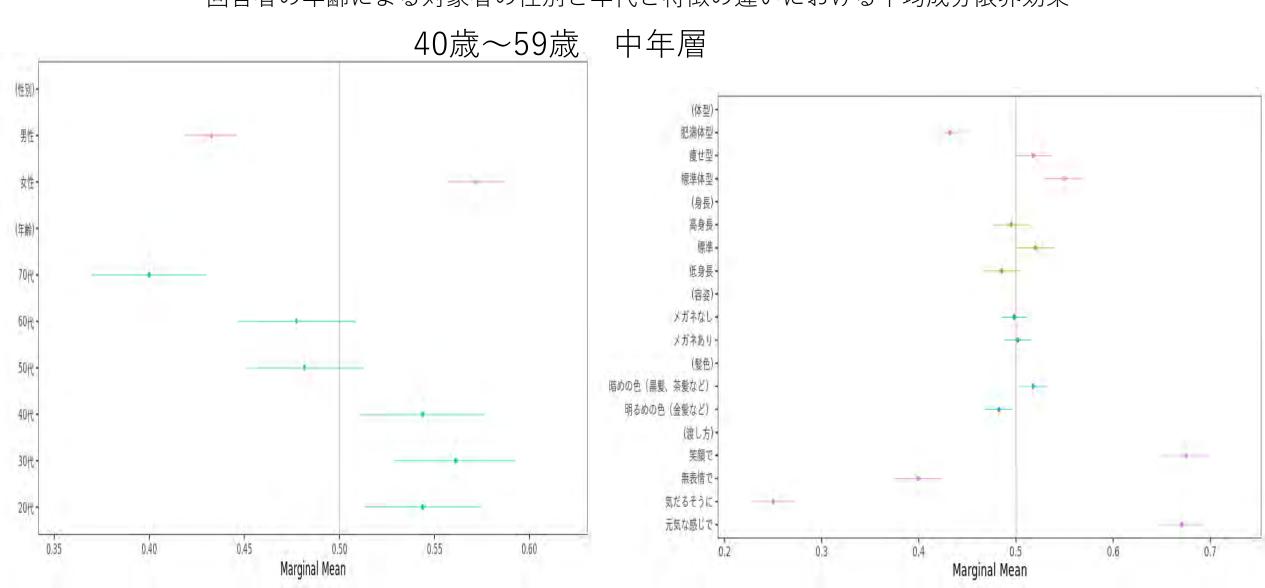
考察

- ・若い人の方が全体的に受け取ってもらいやすい傾向にある
- ・男女問わず、女性が配っていた方が受け取ってもらいやすい
- 女性より男性の方が、高齢層になればなるほど、受け取ってもらう可能性が低下する
- ・男女による違いはそれほどない
- ・メガネをかけているか、かけていないかは、
- ・受け取ってもらいやすさに、大して影響しない

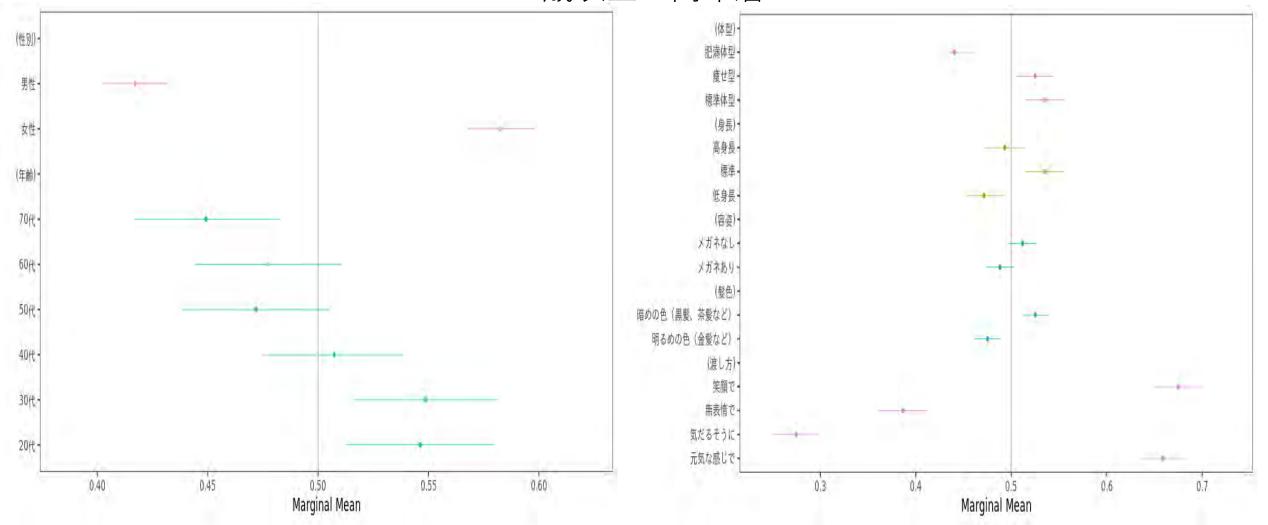
回答者の年齢による対象者の性別と年代と特徴の違いにおける平均成分限界効果 18歳~39歳 若年層



回答者の年齢による対象者の性別と年代と特徴の違いにおける平均成分限界効果



回答者の年齢による対象者の性別と年代と特徴の違いにおける平均成分限界効果 60歳以上 高年層

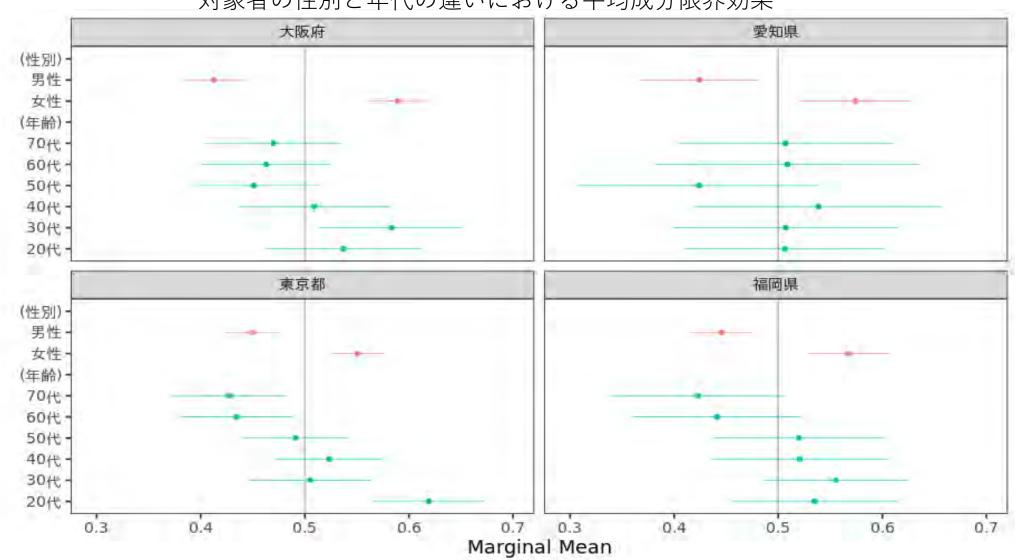


考察

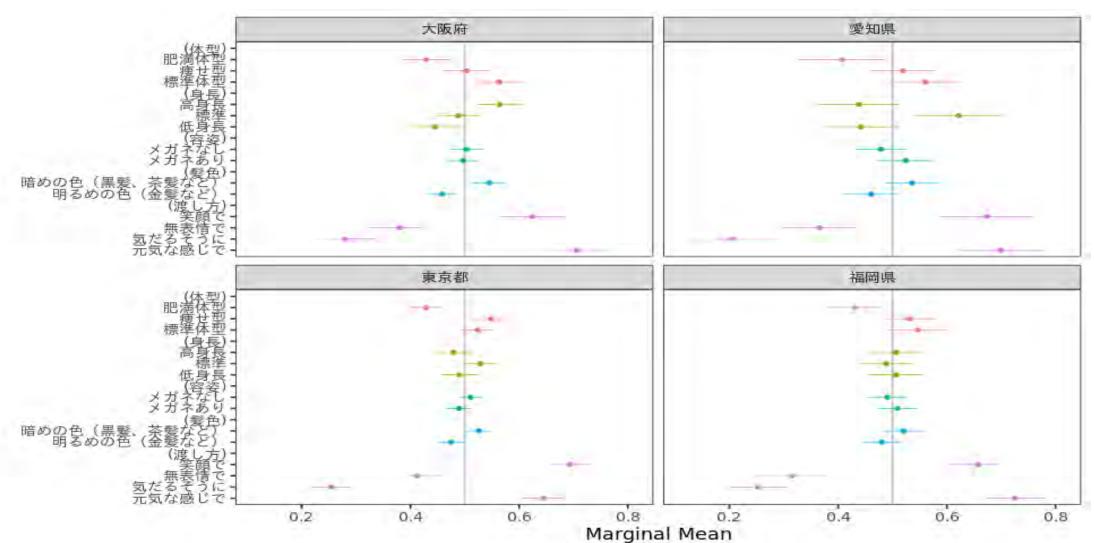
・回答者の年齢によって、受け取ってもらいやすい人物像に大きな差はない

中年層の人は、同年代からのほうが受け取りやすい傾向にある

回答者の住む地域が4大都市の場合、対象者の性別と年代の違いにおける平均成分限界効果



回答者の住む地域が4大都市の場合、 対象者の特徴の違いにおける平均成分限界効果

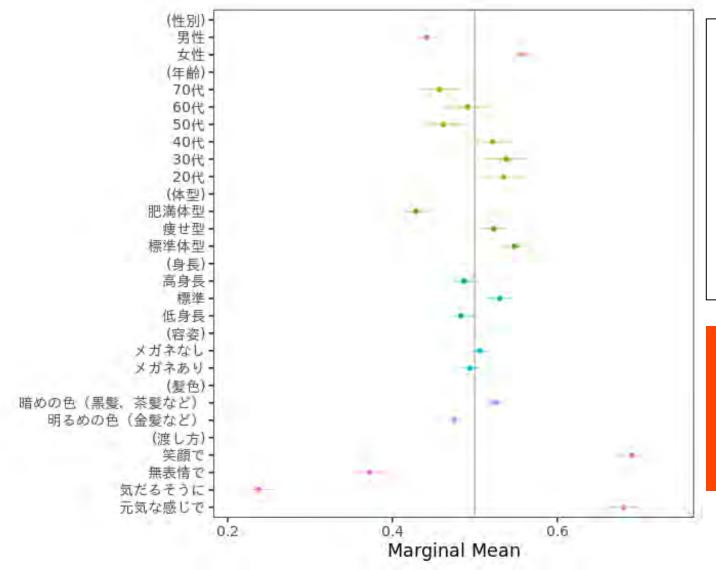


考察

- ・大阪府、愛知県に比べて、東京都、福岡県の方が結果に振り幅が少ない
- = 街頭配布(ティッシュ配り)を受け取る確率が、 配布する人物像に影響されにくい

調査結果まとめ

~7つの要素を考慮した街頭配布(ティッシュ配り)に最適な人物像~



[性別] 女性

[年齢] 30代

[体型] 標準体型

[身長] 標準

[渡し方] 笑顔で、(元気で)

[容姿] メガネなし

「髪色」暗めの色(黒髪、茶髪)

〈特に重要となる要素〉

- ①性別=女
- ②年齡=20代
- ③渡し方=笑顔で

本報告のまとめ

問い:街頭配布(ティッシュ配り)に適した人物像とは?

仮説:①街頭配布を行う人材は、 高年齢層より20代、30代の方が適していて、 配布物を受け取ってもらうのが容易である。

> ②年齢など、他の要素に関わらず「渡し方」が 最も重要視されるのではないか。

方法:様々な人物像を想定し、コンジョイント分析を利用

結果: [性別:女] [年齢:20代] [渡し方:元気で]が、街頭配布ティッシュ配り)の 最適な人物像において

重要な要素である。

今後の課題

・人の多い都心部と閑散地域等、街頭配布(ティッシュ配り)を行う環境や場所の違いによって、受け取ってもらう確率の違いも考慮した調査を行う。